**放送原稿**

みなさんが安全に学校で過ごせるように、新型コロナウイルス感染症についてやその予防方法についてお話します。

コロナウイルスは、元々かぜによくあるウイルスの一つです。「新型」と言われる新しいコロナウイルスの場合も、熱やせきなどのかぜ症状が出ますが、普通のかぜと比べて１週間前後症状が続いたり、強いだるさがあったりする人が多いようです。

ウイルスが人などにうつる病気を「感染症」といいますが、コロナウイルスは、

（掲示等を表示してください）

ウイルスがやくしゃみ、つばなどとにび、それをやからいこんだり、ウイルスがついたでをったりするなどして、ウイルスがのにることによってうつります。触った皮膚からうつるわけではありません。また、手紙や郵便物からの感染も出ていません。あくまで、ウイルスが口や鼻から入ることによってうつるといわれています。

このような「感染症」を予防する方法は主に３つあります。

**一つ目はウイルスを少なくすること。**そのために、教室の換気をすることでウイルスを少なくす

ることができます。寒いとは思いますが教室の窓や扉を今後は開けて授業を行います。

また、教室を清潔にすることもウイルスを少なくすることにつながります。そのために、教室で

使用したものを洗ったり、消毒したりすることもあります。

**二つ目はウイルスを体に入れないこと。**手洗い、そしてマスクをつけるなどの咳エチケットが有効です。また、人と距離を取ることも大切になります。トイレの待ち方や授業、休み時間なども、これまでとは少し違ってきます。今後、担任の先生の説明をよく聞いて行動して下さい。

**三つめはウイルスがきても負けない体をつくること。**　肺炎など、症状が悪くなるイメージが強い新型コロナウイルス感染症ですが、約８０％の人は軽症で治っていくことが報告されています。これは人の体に病気に負けない力「抵抗力」があるからです。ウイルスに負けない力をつけるために、バランスのいい食事、十分な睡眠、適度な運動など、規則正しい生活習慣を心がけましょう。

ウイルスを「少なくする」「体に入れない」「ウイルスに負けない体をつくる」この３つの予防を全校で行っていきましょう。